

ベンチャー訪問

CDを簡単・安全に送れる紙パッケージ

(株)シスパック・東京都



コンパクトディスク（CD）を送るのは厄介だ。プラスチックケースは割れやすいから、緩衝材をぐるぐる巻きにしなければならない。そこで(株)シスパックは、直径12cmのCD/DVDがぴたりと収まり、そのまま定形郵便(90円)、宅配メール便(80円)で送れる紙パッケージ「メールパック」を開発した。

だが、破れやすい紙で大丈夫なのか。黒田壽祐社長が言う。

「1995年の発売以来10年以上、2億7000万枚も使われていますが、無事故です」。そこが特許だ。

素材を含めて製品には細かく気を遣っている。紙粉・傷・埃・強度などに問題のない紙だけを使用し、2mm、10gと薄く軽量。輸送時の振動、圧力、落下などにも耐えられる構造デザインで、クッション材は一切不要だという。しかも紙製だからリサイクルマークがつく。

メールパックには2枚入りなど、デザイン的にいくつかのタイプがあるが、基本的に印刷の仕様を受け、印刷・製本して納品する。ユーザーは官公庁、大学、企業の販促用に使われるケースが多い。同社の製品は全日本DM大賞を連続受賞している。

「わかりやすい例では、多くのインターネッ

トのプロバイダなどから大量の発注を受けたことがあります。ただ最近では個人を含めてニーズは小口で多様化しています。また、CDには大量生産のプレス品と記録型のCD-Rなどの2種類がありますが、最近では記録型が増えている。ただCD-Rなどはプレス品と違って汚れや傷に非常にデリケートです。ほんのわずかな傷でもデータが読めなくなる。その対策として新製品、ソフトビーズ加工を開発、発売しました」

ソフトビーズ加工は、CD-Rなどと接触する紙面に微細な凹凸をつける特殊技術で、ディスクと紙が直接触れない構造になっている。同社は大日本インキ化学工業や王子製紙などの協力を得て、2年半の歳月をかけて完成した。

CD-R、DVD-Rなどは生産量が急増しており、日本で年間20億、世界では200億枚は下らないといわれている。当然、流通時の安全確保は大きなニーズとなる。「この大きなマーケットをソフトビーズで開拓していきたい」と、黒田さん。

もう1つ、個人ユースを狙ってプリンタで印刷可能な「プリンタブル紙ジャケット」を発売した。ミシン加工してあり、簡単に組み立てられる。もちろんこれもソフトビーズ加工だ。今後の売り上げ拡大が期待できる。



会社名	(株)シスパック
住所	東京都中央区銀座3-8-10
企業コード	29-580777-6
代表者	黒田壽祐社長
電話	03 (3538) 1870
F A X	03 (3564) 9302
U R L	http://www.syspac.jp